



# 多摩市の~~みらい~~を創っていく

——2018年 市長選を終えて

多摩市議会議員(社民党)  
伊地智 恭子

## 4年ぶりの市長選 結果は？

4月15日に行われた多摩市長選挙は、4千票台だった他の2候補を圧して現職・阿部ひろゆき氏が当選(34,603票)しました。投票率も36.38%と、過去最低だった前回は僅かですが上回っています。期日前投票数の伸びと合わせて、有権者の関心の向上を窺わせる結果となりました。

## 内部通報という「事件」

ところで、選挙戦直前に阿部市長はある発表を行っています。

4月4日「元職員による内部通報について」という報告がなされ、そこで私たち議員は初めて「市の内部事務に違法ないしは不適切な点があるとの趣旨が記載された書面が送付」された事実を知りました。それ以上の詳細は不明ですが、行政側は「内部通報に準ずるもの」として外部の専門家による事実関係の調査を行う、としています。



## 議員としてやるべきことは

私たち「生活者ネット・社民の会」では、この件について議長に対し「会議を開き議会の対応を検討すべき」との要請を出しました。通報者保護のため情報公開には慎重を要しますが、ただ漫然と行政の報告を待ってはいけなないと判断したからです。

その一方で私は、選挙前というデリケートかつ多忙な時期に、あえて内部通報の事実を発表した阿部市長の態度を評価しています。たとえ不利になっても隠しごとはしない、という行動への信頼と期待から、私は選挙戦で現職を応援しました。

伊地智恭子は、多摩・生活者ネットワークの向井かおり議員、岩崎みなこ議員と3名で、会派「生活者ネット・社民の会」を結成しています。



## まちの主役は市長ではなく市民

もちろん調査が進めば、市長の責任が問われる可能性もあるでしょう。私は阿部氏を支持しましたが、それは互いになれ合うことを意味しません。これまで通り疑問や批判は堂々とぶつけて行きます。

応援した側の責任も含めて、私は市長が掲げた「市民が主役のまちづくり」実現のため、誠心誠意働かなければと思っています。